



第2654回 例会

2016.9.8

会長あいさつ



2016-2017年度 久保田 勲会長

週報 No.2029  
発行 2016年 9月15日  
会長 久保田 勲  
幹事 樋口 雅之  
副会長 藤村 作  
副幹事 須田 悦正  
編集責任者  
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト  
米山記念奨学生  
チョウドリ・イムル君

行事予定  
9月22日 定款の規定により休会  
9月29日 クラブフォーラム②  
(時間変更)  
10月6日 部門セミナー報告  
米山記念奨学部門  
卓話 米山記念奨学生  
チョウドリ・イムル君  
10月15日 社会奉仕事業に振替  
藤村病院130周年  
チャリティイベント出席  
10月20日 卓話  
「ロータリーの友について」  
伊藤栞様(大宮シティRC)  
10月27日 部門セミナー報告  
青少年奉仕部門  
管理運営部門

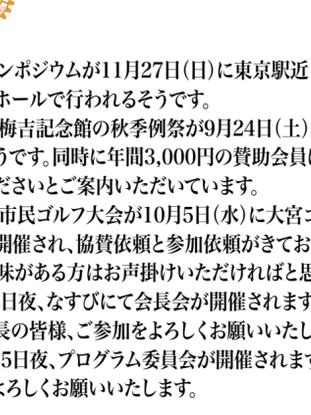
皆さんこんにちは。本年度9回目の例会に参加いただきありがとうございます。前回の例会では浅水ガバナーをお迎えして、滞りなく公式訪問例会を無事終えることが出来ました。皆さんのご協力に感謝を申し上げます。

そして、米山記念奨学生のチョウドリ・イムル君ようこそ。本日から、7月8月に行いました各部門セミナーの報告が続きます。公式訪問などの例会が重なり報告が遅れましたが思い起こして頂いて報告をお願いしたいと思います。今年も暑い夏が終わり、皆さんも仕事、家庭と少しほっとしている時期かと思えます。私も7、8月の各週のセミナーと公式訪問例会を終えて一年間を終えた気分ではありますが、まだ二カ月しか経っていませんので気分を入れ替えていく為にも今日は「やる気」の話をしたと思います。

会社や学校では衣替えは6月1日と10月1日にされており、2週間ほどの猶予があたえられているところ、強制的に替えさせられるところとさまざまではないでしょうか。暑い寒い関係無しに衣替えさせられるのは日本特有なのは知っていましたか？たしかに暑いのに冬服になったり、寒いのに夏服になったりするのやめて欲しいのですが、日本の文化になっているので仕方ないものかもしれません。これから10月になると衣替えの季節になります。私も毎年やらなければと思ってもなかなかやる気が起きなくてついつい先延ばしになり、そのうち秋冬物を出さないという状態になってきて、ようやくするような状況です。ただ、やり始めると、キッチリ出来るまでとことんやりたくなります。これはいつものこととして、いわゆる心理学者のクレベリンが発見した「作業興奮」というものです。とりあえずやってみる。作業してみると興奮してやる気が出る。脳科学的には、やる気=ドーパミンというやる気ホルモンが、脳の側坐核(そくざかく)という部分から出ている状態です。ではどうやったら側坐核からドーパミンが出るのか？それは側坐核に刺激を与えることです。刺激を与えるには、具体的に動くこと。作業すること。やる気のポーズでもいいそうです。スポーツのウォーミングアップも、

R.I. 修了証授与

藤村作会員にR.I. Part I修了証が授与されました。



徐々にカラダを動かすことでやる気が出る、手足を動かす、脳を使う、心身ともに動いて作業すると、側坐核が刺激されてドーパミンが出る。するとやる気が出るので、ますます行動が加速する。まずは、つべこべ言わず「やる」ことが大事そうです。とりあえずやる。イイと思ったらやる。迷ったらやる。動く。カラダと頭を動かす。働かす。すると側坐核が刺激されてドーパミンが出て、さらに動きに拍子みがつくということです。ということで「やる気が無い状態」をやる気にするには、頭というか、気持ちでいくらやる気を起こそうと思っても、それは無理です。まずやってみることで「やる気」を引き起こす、すなわち行動が先で、頭(気持ち)が後だそう。一般的に身体は脳の支配下にあると思われがちですが、本当は逆で、身体が主導権を握っている。これは進化の過程をみれば明らかで、身体のない動物はいませんが、脳の無い動物はいくらでもいます。脳は、進化の歴史では新参者なのです。「楽しいから笑う」のではなく「笑うから楽しい」、「やる気が出たからやる」のではなく「やるからやる気が出る」のだそうです。実際楽しい本を口角(こうかく)を上げて笑顔で読んでいるとさらに楽しく面白い本に感じるそうです。私も、このことは、なかなか完璧にはいきませんが、それでもこれを知る以前よりは、ずいぶんマシになったような気がします。自分でやる気が出ないと思われる方がおられましたら、ぜひ実践してみてください。以上で会長挨拶に替えさせていただきます。

記念シンポジウムが11月27日(日)に東京駅近くのJPタワーホールで行われるそうです。

◆米山梅吉記念館の秋季例祭が9月24日(土)に行われる予定です。同時に年間3,000円の賛助会員にぜひご加入くださいとご案内いただいています。

◆上尾市民ゴルフ大会が10月5日(水)に大宮ゴルフコースで開催され、協賛依頼と参加依頼がきておりますので興味がある方はお声掛けいただければと思います。

◆9月8日夜、なすびにて会長会が開催されます。歴代パスト会長の皆様、ご参加をよろしくお願いたします。

◆9月15日夜、プログラム委員会が開催されます。どうぞよろしくお願いたします。

ビジターゲストあいさつ

米山記念奨学生 チョウドリ・イムル君

9月5日(月)、カウンセラーの関口さんに川越と東京スカイツリーに連れて行っていただきました。私は日本の古い街並み・雰囲気がとても好きです。川越の神社・寺社を訪ね、山屋さんで食事をしました。パングラデシュの言葉で、嬉しくて心が躍るという表現があります。山屋さんの店内に入った途端、お店の雰囲気心が躍りました。そこからスカイツリーに行き、展望台から東京を眺め、いろいろと教えていただき充実した一日を過ごしました。関口さんはとても忙しい中、私のために貴重な時間をともに過ごしていただき、ありがとうございます。



幹事報告

樋口 雅之の幹事

- ◆R.I. Part IIが9月24日(土)越谷で開催されます。Part Iを修了された方には個々にまたご連絡させていただきます。
- ◆最新版のR.I.定款・細則、クラブ定款・細則がMy Rotaryよりダウンロードできる準備が整ったそうです。ご一読いただければと思います。
- ◆「ロータリーの友9月号」に来年の国際大会会場であるアトランタの紹介が掲載されています。
- ◆青少年交換の帰国学生報告会が10月2日(日)午後2時から別所沼会館で開催されます。
- ◆日本ロータリー学友会主催ロータリー財団100周年



例会主題

部門セミナー報告  
広報・会員増強維持部門合同セミナー

会員増強維持委員会 深澤圭司委員長

7月2日、越谷コミュニティセンター・ポルティコホールで広報・会員増強維持部門合同セミナーが開催され久保田会長と参加してきました。当日は会員増強維持についてテーブルごとのグループディスカッションの時間がとても長くとられていました。セミナーに参加する前に行われた事前アンケートの一部内容をお伝えしておきます。

- ・増強維持に対する「クラブのテーマ」を決めているか？  
YES 27% / NO 73%
- ・例会で入会式を実施しているか？  
YES 98% / NO 2%
- ・新会員歓迎会を行っているか？  
YES 90% / NO 10%
- ・歓迎会実施までの期間どれくらいか？  
入会当日6% / 2週間以内11% / 1か月以内47% / 2か月以内15% / 3か月以内13% / 6か月以内2% / 1年以内6%
- ・新会員研修を行っているか？  
YES 67% / NO 33%

会員増強維持の取り組み例としては(2016年PETSから)  
・パンフレットや垂れ幕を作成し、魅力や楽しさを広報する  
・クラブフォーラムや家庭集会を開催し候補者をリストアップして勧誘する  
・入会金や会費の減額  
・JC、YEGなどのOB会員の人脉を使う  
・例会や親睦旅行などに招待し楽しい例会を目指すなどが挙げられていました。

三郷RCさん、川口南RCさんと一緒になった私たちのテーブルのグループディスカッションでは「何故増強が必要なのか?」では予算確保、人員確保、クラブ運営のためとまとめました。「どんな人を入れたいか?」では地元の起業家・若手経営者、職業分類でかけている業種の補てん、退会者のご子息・家族の方に入会を勧める、世代の人数を考慮する等になる委員等とまとめ

した。「広報と合同での増強の方針・企画」では、地域のメディアまたはSNSなどによる情報発信・ホームページの整備、とまとめました。

今回の総評から抜粋すると、若い世代に入会していただくことは、クラブの活性化や世代交代にとって大変重要であり、ロータリーの発展に欠かせない要素といえるでしょう。若い世代や女性を勧誘するにあたっては、クラブの在り方について考える必要があります。若い世代や女性が入会しやすい環境を作り、理解しやすい企画、興味を持ってもらえる事業などを考えていかなければなりません。『寛容の精神』をもって会員増強に取り組みしましょう。とのことでした。

クラブ広報委員会 長沼 大策委員長

セミナー当日、地区の広報委員会に出席している私は、午後からのセミナーにむけ午前8時半に越谷の会場に入り、会場の設営にあたりました。昼食後、地区のゆるキャラ担当になり、皆様のお出迎えと、セミナーにはゆるキャラ紹介で登場させていただきました。今年度の地区の広報部門は「増強のための広報」をテーマに掲げ活動をしていきます。それで部門セミナーも、各部門が並立して縦割りの弊害も生じかねない状況になっている危機感が募り、対抗策として広報と会員増強維持の合同セミナーに至ったようです。当日のテーブルディスカッションの様子は深澤委員長が仰ったとおりです。



さて地区広報部門広報委員会は9月16日に「マスコミ懇談会」を浦和で開催します。マスコミ3社に参加していただき、ロータリークラブとはどのような活動をしている団体なのか、社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・米山記念奨学各部門の部門委員長や、米山記念奨学生・青少年交換留学生をまじえ披露してきます。また10月30日には浦和駅東口で「ロータリーフェスタ」の開催が予定され、実行委員会さんととも運営・進行のお手伝いをしていきます。



話はかわりますが今月は「ロータリーの友」月間です。少しお話しをさせていただきます。「ロータリーの友」は購読の義務があるのですが、投稿して参加することもできます。9月号で第2770地区に関する記事は、地区ロータリーアクト年次大会が開催された模様はロータリーネットワークに掲載されています。それで当地区では数回ですが、俳壇、歌壇、柳壇には第2570地区の多数の方の作品が掲載されています。「友」は購読するだけでなく、参加することもできる媒体であるご認識

いただき、ぜひ投稿をしていただければと思います。

クラブ広報委員会は、クラブや各委員会様の奉仕活動をPRさせていただく裏方です。「楽しいクラブだよ」ということをSNSやメディアに発信しながら、それが増強につながると思います。最後に、会員一人一人がクラブの活動担当者としてご認識いただき、日々のお仕事や活動で上尾ロータリークラブをPRしていただくと幸いです。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問 クラブ協議会 ガバナーを囲んでの懇談会

2016.9.1 ガバナー公式訪問例会後、クラブ協議会と懇談会を行いました。クラブ協議会ではホビー委員会・坂本委員長が全国野球大会出場に向けて野球の練習をしている旨を発表すると、浅水ガバナーから「ロータリーライフを有意義なものにする、このクラブの特徴」だと賞賛を頂きました。浅水ガバナー、大貫ガバナー補佐、本田地区副幹事、岡村ガバナー補佐幹事、ご指導いただきありがとうございました。会長・幹事、会員の皆様、お疲れ様でした!



浅水 尚伸ガバナー ようこそ

|       |       |    |       |       |
|-------|-------|----|-------|-------|
| 出席    | 会員数   | 38 | 出席数   | 20    |
| 欠席    | 欠席数   | 18 | (%)   | 52.63 |
| 前々回確定 |       |    | 欠席数   | 4     |
| 修正(%) | 89.19 |    | (M-U) | 10    |

久保田会長/藤村副会長/樋口幹事/武重会員/岡野会員/大塚信郎会員/小林会員/齋藤重美会員/井上会員/萩原会員/島村会員/深澤会員/野瀬会員/門崎会員/春日会員/芳賀会員

